㈱フッコー　杉山成明 副社長

意匠性に優れた左官表現を追求し建築家のクリエイションに応える

株式会社フッコーは、1955（昭和30）年、山梨県で左官用壁材を製造する会社として創業。戦後復興を願い、当時の社名は東京福幸壁材工業でした。原料から素材、色、質感にこだわり、日本の伝統工法である左官による塗り壁と、施工が簡単な吹付仕上げ材の両方を取り扱い、ラインナップも豊富に展開しています。建物に表情を付けることができる意匠性の高い材料であることから、建築家と商品を開発したり、他業種とのコラボレーションにも積極的に取り組んでいます。
杉山成明副社長に、フッコーのこれまでの歩みと今注力していることをうかがいました。

さまざまなパターンの塗装材を自社で開発・製造

当社は1955年に私の祖父が創業しました。もともと山梨で染物屋をしていましたが、1940年代後半、戦後の建築需要の高まりから、染め釜で壁材を染めて塗り壁をつくったのが始まりです。当時は左官用の内装材を製造・販売する会社としてスタートしました。

それまで内壁は左官が本聚楽や漆喰で仕上げていましたが、建築需要が高い時代、時間も手間も掛からない漆喰壁を模した繊維壁が主流となり、当社も1970年代までは繊維壁を主に販売していました。その後、アクリル樹脂を用いた材料に替わり、左官工法に加え吹付工法が普及しました。

住宅にもデザイン性を求めたり西洋のテイストが好まれるようになり、1973年に当時の塗り壁の技術を外装材にして発売したのが「マヂックコート」です。この頃から次第に建築家と仕事をすることが多くなり、現在は工務店向けの商材ではなく、建築家が求めるものなど、これまでにない意匠性の高い素材やパターンを開発しています。

例えば、「マヂックコートHM」は丹下健三先生設計のハナエ・モリビルで森英恵さんがジェラートをかき混ぜたような滑らかだけどガサガサした壁を希望され、試行錯誤してつくったものです。森英恵さんの頭文字から「HM」と名付けました。力強い表現で陰影が美しい「デュッセル」は、白井晟一先生と松濤美術館の時につくりました。

「いのちの家」　設計：日本設計関西支社　製品：GRANDIO（グランディオ）

出荷量が多いのは「マヂックコート」ですが、市場全体を見ると、モルタルでマットな仕上げが特徴の「モラート」など、特殊なものも増えています。

伝統的な左官技術をコラボレーションで新展開

今の建設現場は、職人不足や工期短縮で湿式を嫌う傾向にあり、左官にとっては逆境ですが、伝統的な左官文化を継承しようと企業間のコラボレーションにも積極的に挑戦しています。

瀬戸のタイルメーカーとつくった「ハイテグラ」は、左官と焼き物のコラボです。古くからある素材を組み合わせて新しい塗り壁を開発し、グッドデザイン賞をいただきました。生コンクリート製造会社とのコラボで生まれた外構舗装仕上材「ドライテック」は、グッドデザイン金賞（経済産業大臣賞）を受賞しています。また、12月に発売予定の壁にも塗れる人研ぎテラゾー「PRIMO」は、宝石の加工で有名な地元山梨の宝石加工会社とつくりました。

表情豊かな素材に触れられるFUKKO駒場ギャラリー

新型コロナウイルスの影響でテレワークをしている企業が増え、これまでのようにサンプルをお届けすることが難しくなってしまいました。そこで、10月に東京・駒場に素材サンプルを展示するギャラリーをオープン。東大キャンパスの緑を臨みながら、自然光が差し込む明るい空間で、表情豊かなさまざまな素材に触れていただけます。ぜひお気軽にお立ち寄りください。

一般の方にも塗り壁がもっと身近になり、魅力を感じていただけるようにWebメディアにも力を入れています。

株式会社 フッコー　https://www.fukko-japan.com

内外装左官・塗装材料等の製造、販売。
仕上・下地材の取付、施工。

サンプルが並ぶギャラリー

本社・工場　山梨県笛吹市御坂町下黒駒1611 金川工業団地内
TEL：055-262-2111（代）　FAX：055-262-9101
東京営業所　東京都目黒区駒場4-6-2 Y5-7F Fukko駒場ギャラリー（予約制）
TEL：03-5738-1771　FAX：03-5738-1776　営業時間：10時～18時（定休日：土、日、祝日）